

道徳科（人権）学習指導案

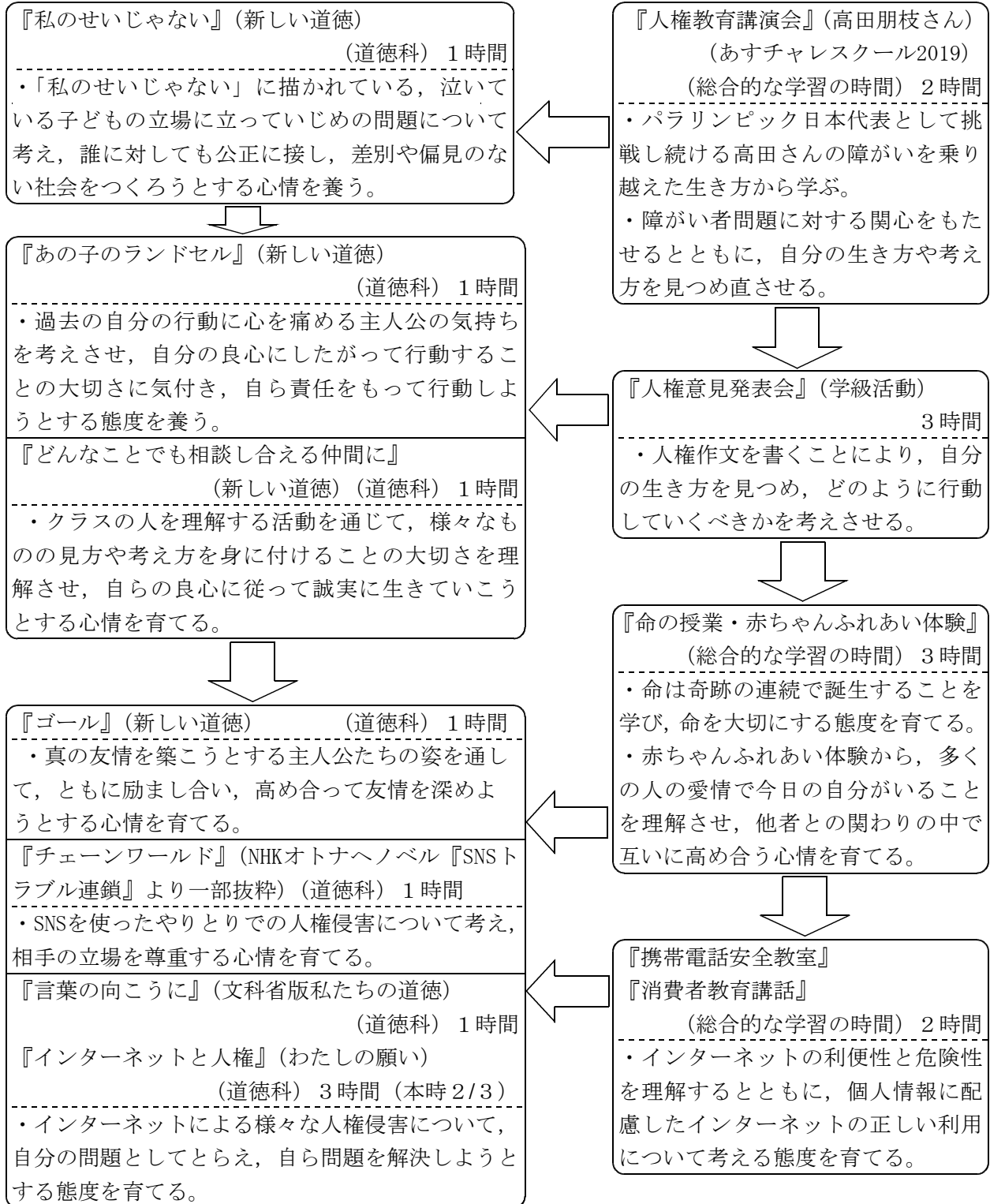
1 主題 よりよくつながる

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

インターネット上における様々な人権問題について学習することを通して、互いの人権を尊重した行動をしていこうとする意欲や態度を育てる。

4 指導計画



5 本時の学習

(1) 目標

インターネット上の問題について考える学習を通して、相手の人権を尊重しながら自分の意見を伝える大切さを理解し、行動していこうとする態度を養う。

ねらいとする道徳的価値	C - (11) 公正, 公平, 社会正義
-------------	-----------------------

- (2) 普遍的な学習のテーマ 人権の尊重
 個別人権課題名 インターネットによる人権侵害

(3) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 前時の学習のインターネット上で気付いたことについて振り返る。	○インターネットでのコミュニケーションで加奈子が何に気付いたかを押さえる。
2 匿名性と記名性の発言の違いについて考える。	○匿名性や、記名性の時の場面を考えさせ、そこにはどのような意識の差があるか違いを考えさせる。
3 インターネット上で自分と違う意見の人とどのように付き合っていくか考え、グループで意見を出し合い話し合う。	○インターネット社会における匿名性を悪用した人権侵害について考えさせる。 ○相手の人権を尊重しながら自分の意見をどのように伝えるとよいか考えさせる。 ①
インターネット上において人権侵害を防ぐためには、どのようなことが大切だろう。	
4 自分たちの生活を振り返り、本学習を通して、これからの生活でどのように行動していくべきかを考える。	○インターネット上だけでなく、人との関わり方について具体的に考えさせ、行動していこうとする意欲を高める。 ②

(4) 評価

- ・ SNSでのトラブルや、ネット上の書き込みの問題について考えるとともに、相手の人権を尊重した行動とはどうあるべきか考えることができたか。 【価値的・態度的側面】 ①
- ・ 友達の意見を受け止め、自分の考えを発表することができたか。 【技能的側面】 ②